



令和7年度の雪対策の取組について

1 除排雪事業の業務体制

◎持続可能な除排雪体制の構築

担い手不足等の課題や働き方改革に対応した安全で合理的な業務体制の構築

(1) 除雪センター機能の集約と充実

- ・スケールメリットによる運営体制の効率化を図るため、除雪センターの更なる集約を試行
令和5年度：9センター体制（主センター4、支所センター5）
令和6年度：7センター体制の試行（統合センター1、主センター3、支所センター3）
令和7年度：4センター体制の試行予定（中央地区、神楽地区、北星地区、永山地区）

(2) 除雪DXの推進

パトロールの省力化に向けて、郊外定点観測地12箇所に積雪センサー・カメラ等の増設
(計13箇所：永山1、江丹別1、東鷹栖1、東旭川3、神居4、西神楽3(既設1))

(3) 除排雪作業における安全性向上の強化

- ・除雪グレーダへの後方カメラやセンサー設置の推進
- ・交通誘導警備員の配置強化や作業範囲の明確化による現場管理の強化

2 路面管理対策

◎本市の実態に即した適切な路面管理手法の強化

近年の温暖化傾向など気候変動を見据えた対応

(1) 極端な気象状況に対する路面管理対策

- ・近年の気象状況を踏まえたザクザク路面の発生抑制と発生時の早期改善に向けた初冬期における予防的対応の強化
- ・路面悪化や対応状況に係わる情報発信の強化

(2) 生活道路の排雪強化

- ・気象状況や路面状況に即した排雪の実施

初冬期の対応強化(イメージ)

- 気象状況に応じ生活道路の圧雪を削り取り
⇒ザクザク路面の原因となる圧雪厚を低減
- 作業により道路幅員の狭小化・雪山の増大
- 情報発信の強化により市民理解を図りつつ
影響低減に向けた作業の実施
- 生活幹線道路の排雪前倒しの推進
道路状況に応じた交差点排雪の実施

除排雪に関する市民アンケート結果(速報)

- ・目的：除排雪事業における令和6年度の評価や市民ニーズの把握
- ・対象：市民及び地区除雪連絡協議会会員（町内会長等）
- ・調査期間：令和7年6月18日～7月18日
- ・調査方法：広報・HP・SNSなどにより周知し、専用のフォーム及び紙により回答
- ・回答数：2,851件（昨年度4,199件）

主な内容（抜粋）	R 6	R 7
幹線道路の車の走りやすさについて〔良い・おおむね良い〕	33%	52%
生活道路の車の走りやすさについて〔良い・おおむね良い〕	16%	28%
交差点の見通しについて〔良い・おおむね良い〕	10%	19%
除雪状況を総合的に見てどう思うか〔満足・だいたい満足〕	11%	20%